

掲載した写真をさしあげます。詳しくは区議会事務局まで

# 公明党議員団

山田 ながひで

## 災害復興の取り組みに学び、防災意識の高揚を

**問** 都との連携も含め、三宅島で全島避難となった島民への区としての支援体制は、発災から復旧までの対応を教訓として蓄積し、備えておくべき。また、情報をホームページ等で広報し、区民の防災意識の高揚とボランティア活動への情報提供に生かすべき。

**答** 全庁的な支援情報の一元化を図るとともに、都の支援を必要とする島民には都の部署を確認し、情報を提供している。阪神淡路大震災の被災・復旧状況から得た教訓を諸施策に反映させてきたが、三宅島災害や有珠山被害から得た情報も生かしていく。災害関連情報は、区のホームページから情報を取ることができ、わかりやすく利用できるよう、改善していく。

## 「都民と創る東京都産業ビジョン00」から

### 行政の役割と行政改革、主要施策の成果の評価について

**問** 都が策定した「都民と創る東京都産業ビジョン00」は、一貫して行政が変わらなければならないと提言している。そこで、区も社会の変化に対応して、内部改革を実行し、行政の役割を果たすべき。諸施策によって区民福祉向上が図られたのか、見直すべきところはなかったのか区民に説明し、評価をしてもらいたい。

**答** 職員の意識改革を始め、内部改革を推進し、変化に対応した区政運営に努める。評価導入には解決すべき課題もあるため、国等の行政評価手法を研究していく。

### 10月から新たな段階を迎える介護保険について

**問** 保険料の徴収開始を間近に多くの課題が浮き彫りになった。そこで、サービス事業者等の相談にはどんな特色があり、どう対応しているのか。サービスの量と質を今後どう確保していくのか。区のアンケートの中間集計では、短期入所に量的な不足感が多くあるが、その対応は。

**答** 訪問看護の内容相談等があり、事業者への助言や調整に努めている。ケアマネージャー・サービス事業者連絡会を発展充実し、検討する。状況を踏まえ検討する。

# 一般質問

(要旨)

区民ネットワーク 寺沢 文子  
 介護保険制度利用上の問題について

**問** 高齢者やその家族は、基盤整備の遅れから、介護保険サービスの利用、施設選定に苦慮している。対応策を検討すべき。ケアマネージャーは介護保険制度の中核を担っている。区民にケアマネージャーを有する事業者の実態を情報提供すべき。また、知識・力量に優れたケアマネージャーの育成と確保が大切であると考えられるがどうか。

**答** 施設整備に鋭意取り組むとともに、国や都に対して働きかけを行う等、方策について検討していく。利用者にケアマネージャーの果たす役割等を周知し、支援体制の充実に努める。育成や確保は、都や指定団体が行うが、区も側面からの協力を努めていく。

神田淡路町特別養護老人ホーム  
 建設推進にむけて

**問** 淡路町特別養護老人ホームの建設にあたっては、区民の要望を反映し、公平性・透明性、公開性を保つため、公募区民主体の区民懇談会や協議会を設置すべきではないか。管理運営の委託業者選定にあたっては、選定委員の人選や審査経過・結果を公表し、透明性、客観性の高いプロポーザル方式を採用してはどうか。

**答** 他自治体の先行事例等を参考に、懇談会等の設置を含めどのような場が必要かを検討していく。複数の社会福祉法人から施設運営の基本理念や具体的な内容等の提案を受け、十分に比較考慮し、選定していく。



ちよだフェス2000

自由民主党議員団 小林 やすお  
 公立幼・小学校でのこみ教育について

**問** 「何がこみであるかそうではないのか」ということを家庭での躾や教育で教えていくことが必要だが、同時に学校や幼稚園でも教えていくことが必要である。現在、小学校・幼稚園ではこみの発生抑制・再使用・再利用についてどのように教えているのか。

**答** こみ問題の指導は、学校における日常生活や教科等の授業を通して行っている。今後、こみ取組を一層充実・工夫し、的確に対応できる人としての育成を目指していく。

「子ども教育委員会」などの実施について

**問** 管外視察先の釧路市教育委員会や国会、東京都では、小中学生の意見を聞く会が行われている。区長は、「中高一貫教育」等小中学生が知りたいことに自ら質問に答える会を実施してはどうか。

**答** 交流会は、子ども達の声を直接聞く貴重な機会であり、教育的な視点からも有意義。公聴活動の一環として検討していく。

事業者の利用しやすい年末資金融資について

**問** 区は、景気回復のために可能な限りの施策を行うことを求められている。商工融資の条件を緩和し、利用しやすい制度にしていくことが重要であるが、今年の年末資金融資についてどのような対応を考えているのか。

**答** 年末資金融資については、一昨年から融資枠の拡大と受付期間の前倒しを実施している。本年も同様の実施を予定し、利用者の負担金利の引き下げも検討していく。

公明党議員団 大串 博康  
 区の防災について

**問** 自然災害が相次ぐ中、区の防災について見直しが行われたが、5年半が経過し、高齢化、情報化が急速に変化した。今再び考え直しては、多発している都市部の集中豪雨を考へ、水害対策の見直し・強化を行うべき。